

QOL Quality Of Life サポーター 新潟

vol. 56



02 【特集1】〈強化指定クラブ〉2021年4月 テニス部・男子バレーボール部が誕生!

04 【特集2】開学20周年特集 第2弾 水泳部 初代部長×現部長による対談

06 【くらしサイエンス】カウンセリングにみる“人のこころを分かる”とは?

08 未来のQOLサポーターに密着! 09 卒業生は今。 10 キャンパスニュース



新潟医療福祉大学 広報誌「QOL」サポーター新潟
Vol.56 2021年9月30日発行



新潟市北区島見町1398番地 TEL:025-12571445(代)
https://www.nnhw.ac.jp
【入試事務室】TEL:025-12571445 E-mail:nyuusj@nnhw.ac.jp



INFORMATION

学友会

第21回伍桃祭(大学祭)案内 10月10日

今年のテーマ
「雲外蒼天」
うんがいそうてん
新潟医療福祉大学は今年の春に21期生を迎え、それに合わせて大学の大学祭でもある伍桃祭も今年で21回目を迎えることができます。保健医療・福祉スポーツの多彩な全13学科からなる本学ですが、年を重ねるにつれて連携が深まり、質の高い総合大学として進化しています。今年も昨年を引き継ぎ、新型コロナウイルスの影響で日常生活に様々な影響が出ました。新たな生活様式となつてから、1年が経ち、1人ひとりに一層、臨機応変さが必要となつてきたと思われまふ。

前の困難を努力して乗り越えれば、そこには青い空が広がっている。」という意味が込められています。現在、新型コロナウイルス感染症拡大で世の中が大変な状況になっています。また、延期になった東京2020オリンピックも通常とは異なる形での開催となりました。そんな、誰もが経験したことがない状況で、一歩ずつ前進しなければなりません。この困難な状況下で、私たちにできることを精一杯努力していかねばならないのです。この伍桃祭を通して、より明るい未来が訪れるようにしていきます。

通して、携わった先生方、職員の方々、学生の皆さん、大変ありがとうございました。この伍桃祭は私一人では決して作り上げることはできません。この場をお借りして感謝申し上げます。10月10日(日)、オンライン上にて多くの方のお越しを心からお待ちしております。
本間 嶺太



他にも盛りだくさん

大学院

国際協力機構(JICA)×新潟医療福祉大学大学院連携 青年海外協力隊等プログラム

青年海外協力隊等に参加しながら修士の学位取得が可能!
JICA海外協力隊として活動しながら同時に修士の学位取得を目指す、画期的なプログラムです。派遣国での活動中も教員の指導を受けることができ、任地での活動が大学院の単位の部として認められます。国際協力現場での実践を通して、国際保健協力に関わる



人材としての資質・能力を高めることを目的としています(派遣前、派遣中どちらの入学も可能です)。2012年の開設以来、すでに14人の隊員が本プログラムに入学されました。

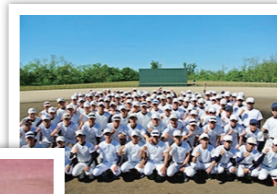
大学院冬のオープンキャンパスのご案内

11月13日(土)
◎教員・現役大学院生によるセミナー
◎大学院概要説明会・個別相談など
※オープンキャンパスの詳細情報については大学院ホームページでご案内いたします。
URL: https://nnhw.ac.jp/grad/
また、お問い合わせは大学院入試事務室までお願いいたします。
E-mail: gnyuusj@nnhw.ac.jp
Twitter: @nnhw_gr

強化指定クラブ 注目選手をご紹介します! ～硬式野球部編～



健康スポーツ学科4年
桐敷 拓馬
埼玉県 本庄東高校出身



桐敷 拓馬選手は、最速150キロの直球と鋭いスライダ、フォークを得意とする本学硬式野球部の左のエースで、今年のドラフト候補としても注目されている選手です!ここでは、普段の試合では見せない等身大の大学4年生の桐敷選手をご紹介します!
Q:健康スポーツ学科では、普段どんなことを学んでいますか?
A:主に体のつくりやスポーツのことを学んでいます。また様々なスポーツを専門的に学ぶ機会もあり、水泳や陸上など様々なスポーツを実践的に学ぶことができます。
Q:休日は何をして過ごしていますか?
A:友だちとテレビゲームをしています。
Q:大学での思い出や楽しかった出来事はありますか?
A:2年生の秋リーグ戦で18奪三振のリーグタイ記録を達成したことです。
桐敷選手ありがとうございました!今後とも、野球部の声援をよろしくお願い致します!



チーム目標

GRIT(困難にあっても、くじけない意志、継続力)

全日本選手権や国体出場などの選手実績を持ち、日本スポーツ協会公認テニスマスターコーチ4資格を持つ西海幸頼監督のもと、今年度より強化指定クラブとして始動しました。

チーム目標に「全日本大学対抗テニス王座決定試合出場を目指し、男子・女子ともに1部昇格、優勝」個人目標に「インカレ出場を目指し、個人の目標を達成する」を掲げ、学業とテニスを両立し、大学生生活4年間で有意義に過ごせるように、自己管理能力を備えた選手、指導者、サポーターなど地域に貢献できる人材の育成をしていきます。



テニス部

2021 全日本学生テニス選手権大会(三重県、8月12日)に出場した岩間選手からコメントをいただきました！

結果・新潟医療福祉大学

316, 216 早稲田大学

勝利を勝ち取ることはできませんでしたが、良い経験をするともに、今後取り組むべき課題が見つかりました。この悔しさを糧に、これからの練習をより集中し、有意義なものにしたいです！



健康スポーツ学科1年 岩間 太陽
新潟県 東京学館新潟高校出身



男子キャプテン
健康スポーツ学科3年 荒岡 宏輔
新潟県 東京学館新潟高校出身
[経歴]
全国選抜高校テニス大会 出場(2017・2018)

1部昇格、優勝

今年度からテニス部は強化指定クラブとなり、新体制での活動がスタートしました。今年のチームの目標は、1部昇格、優勝です。この1部昇格、優勝を目指して日々の練習に取り組んでいます。また、強化指定クラブとなったことで、充実した環境やサポートで部活動ができることの感謝を忘れずに、チーム一丸となって1部昇格、優勝を目指していきたいです。



女子キャプテン
作業療法学科2年 中村 祐子
愛知県 稲山女子学園高校出身
[経歴]
・TOMEIKAI CUP 愛知県ジュニアテニス選手権大会 ベスト16(2018)
・全国選抜高校テニス東海地区大会 出場(2019)

目標に向けて努力

団体戦で男子・女子ともに1部昇格、優勝を目指し、練習に取り組んでいます。個人戦では、1人でも多く本戦に出場し、多く勝ち上がることを目標としています。また、国家資格取得を目指しています。勉強だけでは培えない忍耐力、集中力を部活動で学びながらテニスをすることができています。勉強と部活動を両立できるよう頑張ります。



監督 西海 幸頼
[経歴]
・全国テニス選手権大会 出場
・国民体育大会新潟県代表選手 出場(13回)
・全日本ベテラン選手権35歳以上シングルス 準優勝
・国民体育大会新潟県代表青年女子コーチ

有意義な大学生生活を送るために

テニス部は各自の目標に向かって、学業とテニスを両立するために何事にも一生懸命チャレンジしているチームです。各学科で、資格取得や将来の夢に向かって進む学生の集まりの中で、練習や大会に臨んでいます。チーム目標は、北信越学生テニスリーグ1部に昇格、優勝、全日本大学対抗テニス王座決定試合出場であり、個人目標は全日本大学テニス選手権(インカレ)出場を目指すことです。

令和3年度 大会結果

●北信越学生新進テニス王座 決定試合(石川県:8月7日~9日) 男子2部優勝 女子3部優勝

今後の大会

●北信越学生新進テニス選手権大会 (長野県:10月8日~23日)
●北信越学生室内テニス選手権大会 予選(石川県:11月19日~21日) 本戦(石川県:12月17日~19日)

※今後の状況によっては変更となる場合があります。

2021年4月より 強化指定クラブに テニス部・男子バレーボール部が誕生!

特集1

本学では、これまで全10種目(水泳部、男子サッカー部、女子サッカー部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、陸上競技部、女子バレーボール部、ダンス部、硬式野球部、卓球部)を強化クラブとして指定し、トップアスリートおよび指導者の育成に取り組んでおりましたが、今年の4月より、新たにテニス部、男子バレーボール部が加わり、全12種目が強化指定クラブとして活動することになりました。

男子バレーボール部

チーム目標

明日の自分が少しでも進歩しているように、今日の自分の能力を伸ばす

現在、本学男子バレーボール部は北信越大学バレーボール選手権大会の2部リーグに所属しています。日常的な活動に加え、週休日や長期の休み期間の練習試合や合宿などを通して実績を積み上げ、これから歴史と伝統を作り上げていくクラブです。本学の部員には、新潟県内のバレーボール界の伝統校出身者も数多く在籍しています。国民体育大会の新潟県選抜チームの監督経験がある久保晃監督のもと、大会成績の向上とともに社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。



キャプテン
救急救命学科4年 星 朋希
新潟県 小千谷高校出身
[経歴]
・北信越高等学校新人バレーボール大会 出場(2017)
・北信越高等学校総合体育大会 出場(2017)
・国民体育大会 出場(2017)



感謝

今年度から強化指定クラブになり、充実した練習環境が整いました。私は救急救命学科に在籍しています。他学科に在籍している選手も多いため、学業と部活の両立の手法になれるよう頑張ります。バレーボールを続けるにあたり、携わってくださる方々に感謝の気持ちを持ち、恩返しができるよう頑張ります。



監督 久保 晃
[経歴]
・全日本バレーボール大学男女選手権大会 3位
・関東大学バレーボールリーグ戦 春季リーグ1部 3位
・秋季リーグ1部 2位
・元国民体育大会バレーボール競技少年男子6人制 新潟県選抜チーム監督(1996~1999、2003~2005)



常に経験と知識の更新を

大学創立20周年目を迎える記念すべき令和3年度に、「強化指定クラブ」として男子バレーボール部が誕生しました。学業はもちろんのこと、部員一人ひとりの言動が一層注目され、大会での成績や地域への貢献活動もこれまで以上に求められることとなります。これまでの経験を糧として、これからの経験と知識のアップデートにより、大会成績の向上のみならず社会の発展に貢献できる人材の育成に挑戦してまいります。その第一歩として、平日の練習活動の充実や週末の練習試合および中学・高校との交流を推進し、体力面や精神面での伸長を図ります。

今後の大会

●秋季北信越大学バレーボール選手権大会(石川県:10月23日~24日) (富山県:10月30日~31日)

※今後の状況によっては変更となる場合があります。

Our Strengths!

医療系総合大学の強みを活かす

本学では、強化指定クラブの各選手に対し、スポーツリハビリやアスレティックトレーニングを専門とする教員による「メディカルサポート」、アスレティックトレーナーによる「トレーニングサポート」、管理栄養士による「栄養サポート」、スポーツ心理学の専門教員による「心理サポート」などを行っています。看護・医療・リハビリ・スポーツ・福祉の総合大学のメリットを活かし、強化指定クラブを全面的にサポートする体制が整っています。

「テーマ」

世界で活躍する選手を輩出する、

水泳部の「これまで」と「これから」



■現部長 野極 陽向 さん

静岡県 飛龍高校出身
健康スポーツ学科 4年



■初代部長 深海 佑太 さん

新潟県 中越高校出身
2009年 健康スポーツ学科 卒業
中越高等学校 教諭 水泳部顧問

——新潟医療福祉大学の水泳部に入部した理由をお聞かせください。

深海 私は高校3年生の時に、新潟県内で水泳を続けていきたいと思ったのがきっかけです。ちょうど新潟医療福祉大学に健康スポーツ学科が開設され、水泳部も強化指定クラブとして立ち上がったので入部しました。

野極 私は静岡県出身なのですが、高校3年生の時に、高校の監督から新潟にスプリンター(短距離泳者)に強い大学があると教えてもらいました。当初は知らなかったのですが、調べていくうちに大学の魅力や、水泳部のすごさに気づいて、どうせやるなら強い所に行ってみようと思い、新潟医療福祉大学の水泳部を志しました。

——深海さんの在籍時代と現在で、練習内容に違いはありますか？

深海 当時は下山監督の立てた練習メニューを忠実にこなしていました。水中トレーニングと陸上で行うドライラン

ドトレーニングですね。現在所属している選手たちと違って、私は全国大会やインカレ(日本学生選手権)に出場するくらいでした。それでも記録も伸ばすことができたし、部員数は男子2名、女子4名と少なかつたものの、仲間と4年間一緒に水泳を楽しめたことが思い出です。

野極 水中トレーニングとドライラン、ドトレーニングに重点を置いているのは今も一緒です。大きな違いがあるのは部員数で、現在は選手だけでも40名以上在籍しています。一度にプールに入るのができないので、前半後半と人数を分けて、短い時間の中で効率よく練習を行っています。

——新潟医療福祉大学の練習環境はどうでしょうか？

深海 私は中越高校(新潟県長岡市)の水泳部顧問を務めていることもあり、新潟医療福祉大学に生徒を連れて何度か練習の見学をさせてもらっています。が、私たちが在籍していた頃よりも、学校全体がきれいになって、道具や練習

器具が充実していると思います。野極 水泳に集中できる環境が揃っていると嬉しいです。良くも悪くも学校の周りに何もないので(笑)、水泳に没頭できます。もちろん、水泳やトレーニングに必要な道具もすべて揃っていますし、大学内にウエイトトレーニングをするためのジムもあるので、学内で十分強化ができる環境にいるのかなと思います。

——一番思い出に残っているエピソードを教えてください。

深海 やっぱりふだんの練習が一番楽しかったですね。少ない人数でもみんな一生懸命声を出して練習したり、先生方からも熱心にご指導をいただいたり、仲間や先生方のおかげで、毎日水泳に没頭できたことが、かけがえのない思い出です。

野極 4年間で僕が一番心に残っているのは、1年時に出場したインカレの男子400Mフリーリレー予選です。第1泳者が水沼尚輝選手(東京2020オリンピック出場)、第2泳者が田中優弥選手、第3泳者が僕の同期の選手

男女ともにシード校になったり、日本代表も狙えると思いますし、大学対抗戦でも上位入賞できる力が付くんじゃないかと思っています。

——最後に、現部長の野極さん、将来の目標や夢を教えてください。

野極 僕は来年から小さなスイミングスクールでコーチの職を務める予定です。が、大学やその先くらいまで戦える選手を育てたいという夢があります。自分の指導する選手が、新潟医療福祉大学の水泳部に入部したり、知り合いの監督さんの元で競泳を続けてくれたら、とても嬉しく思います。深海さんは中越高校の水泳部顧問をされていますが、選手を育てていくうえで大事にしていることはありますか？

深海 私が指導者として10年ちょっと経験した中で、新潟医療福祉大学に進学した教員たちもいますが、その子たちに共通して言えるのは、「水泳が好き」ということ。記録が出ない時期や、苦しい練習の時、調子が悪い時というのは誰にでもあります。水泳が好きなのは、そういう時でも練習に来て、目標に向かってあきらめずに頑張っていましたね。選手の素質としては、やはり素直な子が伸びると思います。指導者になると、どうしても注意しなければいけない場面が多々ありますから、指導者ができることとして、自分が伝えたことを選手が素直に聞いてくれるような関係性づくりも、選手の伸びに繋がっていくと思います。

野極 大変参考になりました。ありがとうございます。

深海 これと同じ指導者として、一緒に頑張りたいです。



で、第4泳者が僕でした。A決勝を狙える実力があつたにもかかわらず、8番まで通過できる予選を9番で逃してしまつて、4人の中では僕のタイムが一番遅く、しかも8番との差は0.4秒くらいで「ああ、やつてしまった」と思いました。その時先輩方が「これは誰かが悪いとかじゃなくて、リレーの結果は泳者それぞれに責任がある」という話をしてくださつて、1年時のたつた1本のレースなんです。その時感じた悔しさやチームとしての重みがあつたからこそ、現在ここまでやつてこれたと思っています。

——水泳部のこれからの可能性をどう感じていますか？

深海 中越高校水泳部顧問という立場のため、新潟医療福祉大学の練習を見かける機会がよくあるのですが、練習の充実度もすごいですし、やはり結果に結び付いていますよね。全国大会で入賞したり、インターナショナルの選手が多く出てきているので、これからますます優秀な選手が輩出されていくんじゃないかなと期待しています。母校として本当に誇りだなと実感しています。

野極 そうですね。現在部長を務めています。が、どこでも結果を求めに行ける力を心底感じています。例えば僕たちは現在、インカレでシード校の獲得を目標に練習しています。これは先生方から何度も聞かされてきた話ですが、シード校獲得というのは1期生の頃から言い続けていて、ようやく狙えるところまで来た。深海さんと直接お話させていただいて、脈々と継承されてきた重みを感じます。数年後には



くどし サイエンス

$$S = \frac{U^2 \sin 2\theta}{g} = \frac{U^2}{g} 2 \sin\theta \cos\theta$$



社会福祉学科
原口 彩子 講師

テーマ

カウンセリングにみる 「人のこころを分かる」とは？

ことばの裏側を感じる

私たちは、見えない「私のこころ」に対して、「うっばいっばい」などどまるで器からあふれるもののように言ったり、体の一部として「痛い」と表現したり、キャンパスに色を塗ったかのように「バラ色だ」と説明したりします。見たことも触ったこともない「こころ」という存在を人に伝えるために、いったいどれだけのことばが生まれたのでしょうか。

しかし実際は、実体のない「こころ」をことばだけで人に伝えることは容易ではありません。あつげらんかと「そのうちなんとかあります！」と言い放つ人に限って、鎮痛剤が手放せないほど頭痛や胃痛に悩まされていることがよくあります。人間は自分のこころの声を無視し続けると、体が悲鳴を上げて危険を知らせるつくりになっていくようです。同じく「全然大丈夫」と笑いながら、目から今にも涙がこぼれそうなおもいます。「私は独りでいるのが好きなんです」と言いながら、1時間話せばなし、という人もいます。いかに口から出ることばがあてにならないか、分かっていただけだと思います。

盲目のランナーは、ロープを互いに握りしめ長い道のりを走り切る覚悟を持った伴走者がいれば、勇気を出して真っ暗なロードに挑みやがて喜びを得ます。「人のこころを分かる」ことも、苦しみを共有しながらともに走り続ける覚悟を持つことからしか生まれ得ない現象ではないでしょうか。



「カウンセリングは正直を映す鏡」
イラスト：三沢 翔大(社会福祉学科1年)

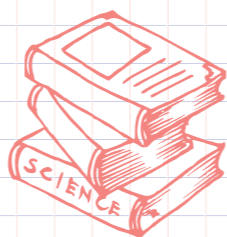
伴走し続ける 覚悟を持つこと



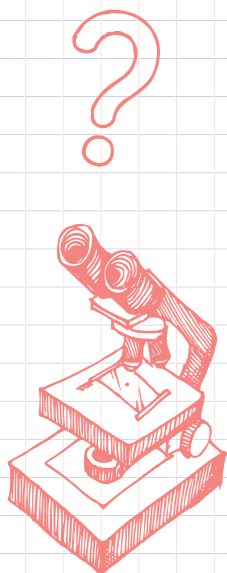
「独りではつらい…」
イラスト：渡部 瑛都(社会福祉学科3年)

私たちは時に言い知れぬ傷つきや不安を抱えて、心の専門家をたずねることがあります。いわゆる「カウンセリング」というものを試そうと思うわけです。ところが、カウンセラーは簡単には自分を理解してくれないし、ほしいことはも与えてくれないことがあります。カウンセラーは超能力者でも読心術を備えた人でもありませんから、簡単に人のこころなど分かるものではないのです。こころを扱うプロたる所以は、

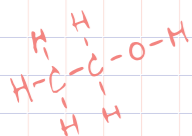
五感(時には第六感も)を総動員して懸命に目の前の人の隠れているこころを感じ取るようにする、その努力を怠らない心構えだ、と私は思っています。



ですから、分かるようにすることはどっと疲れることでもあります。一緒に見失ったこころを探す入り口に立ったものの、ここから目の前の人と迷い道をともに歩き出します。おかしなことを言うようですが、良い聴き手は、「分からない」を恐れぬ人だともいえます。逆にあつという間にカウンセラーが「分かりますよ」と言い出したら不安に思いませんか。
苦しむ人々の「あてにならないことば」と雄弁に語る表情や体の動きを同時に感じながら、その矛盾に関心をもち、純粹に正直に丁寧に語り合うことを通して「ああ、そういうことか……」の境地に至ることがあります。これがひとつの「分かった」瞬間です。
「私は独りでいるのが好きなんです」と言った人がやがて「私は独りが好きなのではないのですね……私の言うことを真剣に聴いてくれる人は今まで自分だけだったんです」と語る時、それは自分を客体化して私が私を見ている瞬間です。その気づきはつらい事実かもしれませんが、誰かと一緒に分かち合う中でなら前向きな一歩に違いありません。自分の本当の気持ちを見つめる自傷行為を止める時が来たわけですから。



サイエンス





臨床技術学科4年 菅原 明日香
秋田県 大館桂桜高等学校出身

7:00	8:00~9:00	9:00~12:00	12:00~13:00	13:00~17:00	17:00~19:00	19:00~21:00	22:00	23:00
起床・準備	通学	授業	ランチ	授業	自己学習	部活・サークル	夕食	シャワー・就寝
ある日のスケジュール								
8:00	9:00	10:00~17:00		17:00	18:00	19:00~21:00	21:00~22:00	23:00
起床・準備	移動	アルバイト		移動	夕食	自宅学習	自由時間	シャワー・就寝
休日								

臨床工学技士・臨床検査技師を目指したきっかけはなんですか?

母が医療従事者であったため、幼い頃から医療に興味を持っていました。さらに高校生の頃、病院見学をする機会があり、臨床工学技士と臨床検査技師について知りました。将来の進路を考え、調べていくうちに現代医療に欠かせない医療機器を保守管理・治療機器を操作する臨床工学技士、診療のための専門的な検査を担う臨床検査技師の具体的な仕事内容を知り、縁の下で医療を支える姿に強い憧れを抱いたのが、この2つの職種を目指したきっかけです。

今までで一番印象に残っている授業はどんな授業ですか?

3年次に履修した「生体機能代行装置学実習」が最も印象に残っています。この実習では、実際に臨床現場で使用する人工呼吸器、透析監視装置、人工心肺装置に触れ、機器の操作や監視項目について学ぶことができます。その中でも、実際の症例をもとに手術の流れに沿って、人工心肺装置の操作を行う症例検討の実習では、実際の臨床現場をイメージすることができ、得るものが多かったです。また、トラブルに対する対処方法など、自分たちで考えながら授業を進められたところも印象に残っています。この経験は、4年次での臨床実習で活かすことができました。

将来の夢や目標を教えてください。

生まれ育った地元秋田に戻り、臨床工学技士と臨床検査技師のダブルライセンスを活かしながら、地域医療を支えていくような存在になることが目標です。新潟医療福祉大学で学んだことで、臨床工学の診療からのアプローチと、臨床検査の診断からのアプローチの両側面から患者様に貢献できる人材になれると考えています。具体的には、循環器業務に興味を持っていてその分野に携わり、就職後も関連する専門資格の取得に向けて日々勉強していきたいと思っています。必ず目標を達成できるように頑張ります!

地元・秋田の地域医療を支えていく存在になりたいです!



卒業は

現在の仕事内容は?



回復期リハビリテーション病棟に所属し、作業療法士として「生きがいのスペシャリスト」として、障がいを持つ患者様の日常生活動作、社会復帰に向けた支援を行っています。最近では、自動車の運転、再開に力を注ぎ、動作評価、コミュニケーション機器による適応評価なども専門的にを行っています。

仕事の魅力ややりがい

作業療法士は患者様の日常生活動作の支援をはじめ、地域や社会との関わりを通しての社会活動、職業復帰における動作指導など幅広く関わり、再出発を目指します。患者様一人ひとりが生活歴も環境も違う多種多様な問題を抱えており、障がいを受容し次のステップに目を向けていくために何を感ずて、何を問題としているかを十分に共感することが要求されます。柔軟に考慮し、その方たちにあたりハビリテーションを展開し生活全体に関わっていくという仕事として、毎日の変化の中、やりがいを感じています。

大学では生理学や基礎運動学などヒトの機能や構造に對しての知識を学ぶのと同時に、臨床では必須の作業療法評価学等の専門的な理論も学びました。患者様の障がいも多岐に渡るように、作業療法における機能評価や訓練内容も広く、障がい前後の因果関係などを検討する際に、原理として大学で学んだ知識が活かされています。大学3年次の評価実習、4年次の総合実習では、教科書では学べない臨床ならではの実践的な問題と向き合い、作業療法の可能性と広がりを感じたことが印象に残っています。

本学を一言で表すとしたら?



現在の仕事を 目指したきっかけは?

漠然と人の役に立ちたいという思いがありました。高校時代に、介護福祉士をしていた兄の話聞くうちに、私たちが普段日常では感じにくい「障がい」という問題を抱えた人が多数いることを知り、医療における「人の役に立ちたい」という気持ちが強くなり、

「フレンドリー!」

私が所属していた作業療法学科は約40名と少人数のクラスでしたが、公私ともにとてもフレンドリーな学科でした。試験があれば夜遅くまで

学校に残って教えあい、担任の先生にも親切に対応していただき、常に笑いが絶えなかったことが印象に残っています。



新発田リハビリテーション病院
田村 亮さん
作業療法学科 2013年3月卒業
新潟県 新潟江南高校出身

作業療法士を目指す 高校生へメッセージ

作業療法士は、今後多様性が求められる現代の中で、より必要とされるであろう職業だと感じています。一人ひとりのニーズに合った支援と、人としての尊厳を重んじて、自分の関わりが良いためであったと言えようなものであれば、やりがいを感じられると思います。「人の役に立ちたい」、面接ではありきたりな発言かもしれませんが、それが作業療法士を目指す根拠であってもいいと思います。



本学で学んだことが仕事でどう活かされていますか?

リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合による先端的研究拠点

— Sports & Health for All in Niigata —

五十嵐小雪さん(博士後期課程 医療福祉学専攻1年)と、健康スポーツ学科 佐藤大輔教授らの研究論文が国際誌『Cerebral Cortex』に掲載されました！

様々な感覚情報をもとに、行動を遅らせることと進行中の行動をキャンセルすること(反応抑制)は、日常生活やスポーツ活動において欠かせない機能の一つです。しかし、感覚情報の種類によって、反応抑制機能に違いがあるかは明らかにされていません。また、これまでの研究結果には、①行動の開始と抑制に異なる種類の感覚を用いており、②感覚情報の種類が変化すること、③複数の感覚情報によって行動を抑制していることが影響していると考えられます。そこで本研究では、反応抑制に対しての感

理学療法学科 江玉 睦明教授と 島根大学 大谷 浩教授との共同研究が国際誌『Surgical and Radiologic Anatomy』に掲載されました！

ヒトのアキレス腱は、捻れ構造を呈していることが遺体を用いた研究や、生体を対象としたMRIや超音波を用いた研究で明らかになっています。近年、この捻れ構造とアキレス腱障害との関係が注目されています。我々の先行研究では、重度の捻れ構造捻れが強いアキレス腱は、軽度や中等度の捻れのアキレス腱よりも傷害発生のリスクが高いことが明らかになっています。しかし、アキレス腱を用いた研究の多くが高齢のアキレス腱を対象とした研究がほとんどであり、捻れ構造

や捻れの変化が先天的に構成されたものかどうかは不明でした。

そこで本研究では、胎児遺体(妊娠中期)を用いてアキレス腱の捻れ構造を明らかにすることを目的に研究を行いました。その結果、胎児のアキレス腱は、高齢遺体を対象とした先行研究と類似した捻れ構造を呈していました。今回の研究結果から、アキレス腱の捻れ構造は先天的に構築された構造である可能性が高いことが明らかになりました。従って、アキレス腱の捻れ構造は変化させることができないため、重度の捻れ構造のアキレス腱に対しては、力学的特性などの構造以外の要因にアプローチする必要がありますと考えられました。



研究成果のポイント
①胎児遺体(妊娠21~25週、平均体重:約1800g)を用いてアキレス腱の捻れ構造を検討した点
②胎児のアキレス腱を捻れの程度に応じて3つのタイプに分類した点(軽度、中等度、重度)

覚情報が、どのように影響するかを明らかにするため3つの問題を改善した課題を新たに作成しました。そして、視覚・聴覚・体性感覚の3つの感覚情報による反応抑制の違いを調べました。その結果、人は目からの情報よりも、耳や皮膚から得る情報の方が、次に起こることを予測して、行動を遅らせることが明らかとなりました。

江玉 睦明教授からのコメント
本研究結果をさらに発展させ一人でも多くのアスリートがけがを予防しながら競技に打ち込むことができるように取り組みしていきたいと思っております。



博士後期課程 医療福祉学専攻1年 五十嵐 小雪



健康スポーツ学科 佐藤 大輔 教授

本研究結果は、日常生活での危険な出来事(例:交通事故)から身を守るためには、目からの情報だけではなく、その他の感覚情報によって行動を抑制することが必要不可欠であることを示しました。今後は、感覚情報の種類によって違う理由を神経活動の特徴から明らかにすることが必要です。また、今回

の研究結果が、それぞれの感覚情報による反応抑制機能を高めることができる手法の確立に繋がり、それにより、交通事故発生数の削減や競技パフォーマンスの向上に役立てられることを期待しています。



SHAINプロジェクトとは 文部科学省 平成29年度 私立大学研究ブランディング事業の選定プロジェクトの通称。リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合により「Sports & Health for All in Niigata(SHAIN)」=地域住民からアスリートまですべての人が安全にスポーツを楽しみ、幸せな生涯を過ごす新潟県」の創出を目指します。

CAMPUS NEWS

キャンパスニュース

ホットで旬なニュースをお届け!

ANNOUNCEMENT



【水泳部】
本学初の快挙！本学職員 水沼尚輝選手が東京2020オリンピック出場！

2021年7月24日(土)~8月1日(日)に東京アクアティクスセンターで行われた「東京2020オリンピック」において、水沼尚輝選手(本学職員)が、男子100mバタフライおよび男子400mメドレーに出場しました。

100mバタフライ準決勝(7月29日)では全体10位で惜しくも決勝進出を逃がしましたが、400mメドレーリレー決勝(8月1日)では3分29秒91の日本新記録・アジア新記録で6位入賞という結果でした。水沼選手は「今回の大会では、形のある結果を残すことはできませんでしたが、皆さんの温かい応援にはとても感謝しています。3年後のパリ五輪まで自分の中ではとても短く感じています。新潟の地で練習し、皆さんに幸せを届けたいです。」とコメントしました。今後とも、水泳部へのご声援よろしくお願いたします。



【義肢装具自立支援学科】
佐藤 未希助教が東京2020オリンピック 聖火リレーのランナーを務めました！

6月5日(土)に義肢装具自立支援学科 佐藤 未希助教が聖火ランナーとして参加し、弥彦山登山道を走りまわりました。聖火リレーの様子は、NHKの公式WEBサイト内の東京2020オリンピック特設サイトでご覧いただけます。

NHK公式WEBサイト
NHK公式WEBサイト



【佐藤 未希助教からのコメント】

弥彦神社の山道を走り回りましたが、とてもきれいなランとは言えませんが、支えてくださった方々への感謝と、私と同じように障害を負った方も挑戦する気持ちを忘れないでほしいという思いを込めて走りました。感謝と走れたことの喜びで涙を抑えることができませんでした。まさに一生に一度の貴重な素晴らしい経験させていただきました。

【お知らせ】
本学教員が日々の生活に役立つ情報をお届け！『新潟医療福祉大学健康ラジオ617』を音声プラットフォームVoicyで配信スタート！

新潟医療福祉大学では、大学創立記念日の6月17日に音声放送プラットフォーム「Voicy」(ボイシー)で、『新潟医療福祉大学健康ラジオ617』の放送を開始しました。

『新潟医療福祉大学健康ラジオ617』では、本学教員がラジオパーソナリティになり、各分野の専門家の

App Store



Google Play



新潟医療福祉大学 健康ラジオ617

視点で、「健康になれる話や」ちよつとした健康雑学など、日々の生活に役立つ健康情報の配信を行います。

通勤・通学・帰宅時間などの耳の「可処分時間」に、日常生活や将来に役立つちよつとした情報を聞いていただきたいという思いから、始めることになりました。

『新潟医療福祉大学健康ラジオ617』は新潟医療福祉大学公式アプリよりお聴きいただけます。ぜひお使いのスマートフォン・タブレットよりダウンロードいただきご利用ください。

- 【これまでの放送内容】
- ケガをしない体づくり(前編・後編)
 - 歩くことがQOLに与える効果(前編・後編)
 - 笑いが体に与える影響(前編・後編)
 - 『オリンピック特別企画』専門家座談会(スポーツ選手が試合で最高のパフォーマンスを発揮するためのコンディショニング術(前編・後編))
 - 若者からお年寄りまでできる腰痛予防・急性腰痛編(前編・後編)
 - 嚔下と肺炎！家でできる予防方法(全3回)
- 音声プラットフォーム「Voicy」について詳しくはこちら



NUHW ParATFC (障害者陸上教室)を開催しました！

本学では、月に1度のペースで四肢切断者を対象にした「NUHW ParATFC (障害者陸上教室)」を開催しています。東京2020オリンピック・パラリンピックの影響もあり、「義足でも走れる！走りたい！」という方が増えています。義足でのランニングには「板バネ」と呼ばれる走行専用の義足足部を使用しますが、日常生活においては機能の面からほとんど使用しないことや高価であることから、初心者の方にとっては手を出しづらいものです。さらに練習場所の問題もあり、義足使用者にとってランニングはハードルが高いスポーツとなります。

「NUHW ParATFC(障害者陸上教室)」では、義足ユーザーに対して部品の貸し出しやグラウンドの提供を行うことで、気軽に参加できる環境作り、ランニング指導を実施しています。学生たちは、こうした活動に参加することで、スポーツ義足の特性を理解するとともに、障害者アスリートへの支援や他の専門職との連携について体験的に学んでいます。